

普通会計歳入決算の主な増減項目

【市税】

個人市民税が3億4,500万円の増収となるなど、多くの税目において前年度より増加したことにより、

4億6,100万円増（0.9%増）の514億1,100万円

（主なもの）

個人市民税：給与所得などの増加により、

3億4,500万円増（1.7%増）の211億9,000万円

市たばこ税：加熱式たばこの売上本数の増加及び本数換算の税率引き上げの影響により、

8,900万円増（5.3%増）の17億5,700万円

【地方消費税交付金】

個人消費の回復や物価上昇などに伴い、地方消費税が増収となったことから、

3億6,000万円増（4.8%増）の78億6,000万円

【地方交付税】

普通交付税の算定において、臨時財政対策債に振り替えられる割合が減少したほか、社会保障関係費の伸びに加え、経済対策の事業や独自の地域活性化策等に必要となる財源を措置する目的の臨時経済対策費が創設されたことにより、基準財政需要額が増加したことから、

2億8,200万円増（2.0%増）の143億4,100万円

【国庫支出金】

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金や住民税非課税世帯等への臨時特別給付金に係る補助金が増加した一方、前年度に実施した対象児童1人あたり10万円給付の子育て世帯への臨時特別給付金に係る補助金が減少したことから、

55億1,500万円減（12.4%減）の389億8,500万円

(主なもの)

項目	令和4年度 決算額	対前年度 増減額	増減率
新型コロナウイルス感染症対応 地方創生臨時交付金	3,468,489千円	627,937千円	22.1%
住民税非課税世帯等給付事業費 補助金	3,834,808千円	798,338千円	26.3%
子育て世帯等臨時特別支援事業費 補助金	96,054千円	△4,946,398千円	△98.1%
新型コロナウイルスワクチン接種 体制確保事業費補助金	2,082,581千円	△1,490,338千円	△41.7%
新型コロナウイルスワクチン接種 対策費負担金	1,153,683千円	△838,015千円	△42.1%

【繰入金】

前年度の4つの基金廃止に伴う繰入分が減額となった一方、今後の公共施設の長寿命化対策や将来のインフラ整備等の財源として備えるため、財政調整基金から公共施設等総合管理基金への積替による繰入金や地域福祉会館整備に伴う福祉施設建設等基金からの繰入金が増加したことにより、

2,400万円増(0.7%増)の33億2,700万円

(主なもの)

項目	令和4年度 決算額	対前年度 増減額	増減率
財政調整基金	3,000,000千円	3,000,000千円	皆増
福祉施設建設等基金	290,000千円	202,598千円	231.8%
ごみ処理施設整備基金	-	△1,850,442千円	皆減
森林保全資金貸付基金	-	△600,000千円	皆減
体育施設建設等積立基金	-	△427,200千円	皆減
公園墓地管理基金	-	△302,900千円	皆減

【市債】

高槻城公園芸術文化劇場整備の進捗などにより、投資的経費が減少したこと
で、事業債が減少し、臨時財政対策債は前年度同額の発行を行ったことから、

16億1,200万円減(27.2%減)の43億1,300万円

(内訳)

項目	令和4年度 決算額	対前年度 増減額	増減率
事業債	3,313,200千円	△1,611,900千円	△32.7%
臨時財政対策債	1,000,000千円	0千円	-

※【主な財政指標等】

普通会計	令和4年度	令和3年度
経常収支比率	90.7%	89.9%
財政力指数	0.779	0.794
基金現在高	38,447,757千円	35,071,203千円
市債現在高	41,714,746千円	45,480,526千円